

やまめ

135号

五木村議会だより 2021.1.29発行



もぐらうち (頭地地区)

- 議長新年挨拶
- 五木村単独災害支援条例
(12月議会定例会)
- 緑の流域治水事業は
(一般質問)
- 村人インタビュー
(山口弘貴さん)

議長長新年挨拶

新年あけましておめでとうございませす。ご家族お揃いで輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、国政では安倍政権から菅政権に代わり、熊本県選出の坂本哲志氏が一億総活躍担当大臣に就任されました。県政では蒲島知事が4度目の当選を果たされておりま

す。人吉球磨地域においては、コロナウイルス感染症拡大防止対策の最中に、7月豪雨で尊い命が奪われる甚大な災害が発生し、大変な年であったと思いがす。豪雨災害の犠牲者と被災者の皆様にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

五木村では幸いに人災はありませんでしたが、道路の被災がありご迷惑をおかけしております。災害査定もほぼ終わり逐次復旧されていく見込みであります。

また、蒲島知事は7月豪雨で球磨川

が氾濫したことにより、球磨川流域の治水について、川辺川ダム建設を白紙撤回から180度転換し、球磨川流域

住民の生命財産と環境を守る流水型ダムの建設を国に求め「将来にわたって球磨川流域の安全安心を確保することが天命だと覚悟をもって取り組む」と表明されました。「五木村の振興についても政治生命を懸け、これまで以上に責任と覚悟を持って取り組む」と発言

されておりますが、「川辺川ダム建設の白紙撤回や新たな流水型ダム建設の発表」時も、五木村には事前に何も話はありませんでした。蒲島知事の身勝手

で五木村を無視した発言であると言わざるを得ません。流水型ダムの規模や五木村振興の具体策についても国・

県からまだ何も示されておりません。議会としては、ダム特別委員会や議会

会全員協議会を開いて協議し、熊本県に五木村の振興を具体的にどう考えているのか説明を求めよう執行部に要

求しているところでございます。

また、令和3年度は木下村長の施政方針に伴う予算編成の初年度であります。少子高齢化と人口減少が進んでいる中、どのような振興策が盛り込まれた予算が提案されるか注視しながら3月議会に臨み、議案をしっかりと議論して住民のための予算になるようにしていかなければなりません。

最後になりますが、今年一年が災害のない平穏な年でありますとともに、コロナが一日も早く収束することを願ひ、そして、皆様のご健勝を祈念申し上げます、年頭のご挨拶とします。



五木村議会議長 岡本 正

12月 定例会

五木村単独災害復旧事業 支援条例制定

こんなことが
決まりました

令和2年第4回五木村議会定例会が12月9日から12月11日までの3日間で開催。上程された案件は「人権擁護委員候補者の推薦」1件、「条例の制定」1件、「条例の一部改正」3件、一般会計及び特別会計の補正予算6件の計11件。一般質問は2日目に5人の議員が村政について質した。また、9月定例会で決算認定審査特別委員会に付託されていた「令和元年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定」10件については全会計を認定した。

議案第68号は、令和2年7月豪雨で被害を受けた村内の方や団体などが施設や敷地などを復旧する場合に支援する五木村独自の条例も可決した。

人権擁護委員候補者（推薦） 辻 篤子氏（頭地）

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	岡本 精二	早田 吉臣	藤本 新一	中村 俊也	黒川 麻里子	川邊 正美	西村 久徳	審議結果
諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	適任で答申
議案第68号 五木村単独災害復旧事業支援条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第69号 五木村固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第70号 五木村介護保険条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第71号 五木村国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第72号 令和2年度五木村一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第73号 令和2年度五木村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第74号 令和2年度五木村簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第75号 令和2年度五木村介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第76号 令和2年度五木村代替地上下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第77号 令和2年度五木村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

補正予算

(単位：千円)

会計名	補正前額	補正額	予算現額
一般会計	3,200,292	△ 3,212	3,197,080
国民健康保険特別会計	169,664	△ 21,659	148,005
簡易水道事業特別会計	25,071	△ 15	25,056
介護保険特別会計	218,893	12,906	231,799
代替地上下水道事業特別会計	15,300	2,366	17,666
後期高齢者医療特別会計	25,795	△ 784	25,011

令和2年7月豪雨村内災害箇所視察（10/29）



村道瀬目線



村道入鴨線



村道梶原線

どうする、ふるさと五木村づくり

— 決算認定審査特別委員会報告 —

9月定例会において、特別委員会に付託された「令和元年度五木村歳入歳出決算は、2日間の審査・審議を行った。その結果、3つの意見を付して委員会としては、採択とした。

木下村長より提出された、「令和元年度五木村一般会計」および9つの「令和元年度特別会計決算」について議会は、特別委員会を設置し令和2年10月23日と11月13日の2日間、開催した。10月23日は主要施策の成果および歳入歳出決算書の説明を受けて内容を確認しながら、それぞれ疑義を生じた事業などの資料の請求、提出を求めて終了した。

11月13日は提出された資料について質疑応答を行った。その結果、まとめとして令和3年度、新たな「ふるさと五木村づくり」の5か年計画が策定された。しかし、少子高齢化は依然として続いており、人口増を目指した事業も見直しが必要である。委員会として、以下の意見を付して採択と決定して閉会した。

1. 今後、厳しい財政状況が予想されるため、長期財政計画を早期策定すること。
2. 令和3年度は、「ふるさと五木村づくり計画」の中間年度であり、五木村振興に低予算で効果のある事業に取り組むこと。
3. 指定管理団体の経営が厳しい状況にあるので、抜本的な対策を講じると共に、議会にも随時報告すること。

期末手当を5 / 100 減額

臨時会

五木村一般職の職員の給与を人事院勧告、県人事委員会勧告を踏まえ期末手当を5 / 100 乗じた額の減額。公布の日から施行。

令和2年11月24日午前9：00から第4回五木村議会、臨時会を開会。

会期を11月24日、一日限りとして、「五木村一般職の職員の給与に関する条例の一部改正」と五木村一般会計予算に32万円を追加、総額32億29万2千円上程。臨時会の議題とした。

一般職の給与の一部改正は民間給与の格差を踏まえ行われた国の人事院勧告及び県の人事委員会の勧告を受け期末手当を130 / 100から125 / 100へ改め、任期付職員も同様に5 / 100を乗じた額を減額。

また、五木村一般会計補正予算は、7月豪雨により被災した造林作業道上小鶴線改良事業の改良事業負担金として32万円、その支障木の売払い収入として32万円追加計上。

総額32億29万2千円とした。

提案された2議案ともに全会一致で可決成立した。



作業道上小鶴線災害箇所

議員の質疑 「給与の改正」 質疑：村内の民間との給与の比較はされたのか。

答弁：調査を行ったことはない。

「補正予算」 質疑：売払い収入分の地主への対応は。

答弁：財産収入に村と地主分を合わせて計上。次の補正で修正したい。

質疑：豪雨災害の小規模災害な災害復旧に対する条例が必要ではないか。

答弁：小規模災害については、要綱で対応している。条例化に向けて検討したい。

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	岡本 精二	早田 吉臣	藤本 新一	中村 俊也	黒川 麻里子	川邊 正美	西村 久徳	審議結果
議案第66号 五木村一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第67号 令和2年度五木村一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

緑の流域治水事業はゼロからの対応では

木下村長 ゼロからの対応もある

川辺川ダム問題について

質問 11月6日、川辺川ダムの是非の意見を徴収する流域市町村長・議長会議でダムの有効性を認識し、容認する基本的スタンスは変わっていないと発言をされている。その意を村長に聞きたい。

村長 平成8年川辺川ダム本体着工を同意し従来型の貯水型ダムは治水効果があると認識しており、村の基本的スタンスは変わっていないということの発言趣旨である。

質問 議会がダム着工同意時は多目的ダムで蒲島知事の白紙撤回、当時の前原国土交通大臣の一方的なダムの中止



藤本 新一 議員

で、今回知事が発言した流水型ダムとは大きく変わるが。

村長 五木村はダムを容認し、ダムを進めている。ダム建設が止まっている現状を踏まえ、国、県の責任を問うたところもある。

質問 村長の発言は、村民の総意として受け止められる。村民や議会とも協議をし、慎重な発言をしていただきたい。

村長 流水型ダムの話しではなく、従来の村の判断に従った発言をしている。新規の問題が出てくれば村民と議会と協議する必要があると考えている。

質問 下流域市町村は、7月豪雨災害でダム建設を進める方向にあり、村長にダム建設に対し協力をお願いはあったのか。

村長 7月豪雨災害を受け、川辺川ダム建設促進協議会に相良村も加入し、抜本的な治水の見直しを合意している。

質問 平成8年議会が同意したのは多目的ダムであり、今回知事の考える流水型ダムとは異なる。ゼロからの対応が必要と思うが。

村長 知事は緑の流域治水を国交省に要望されたが、五木村は多目的ダム法に基づくルネッサンソン計画、ダム湖周辺整備等の計画であり、流水型ダムに変わるのであれば、当然ゼロからの対応を国、県に求める必要がある。

質問 流水型ダムは五木村に大きなマイナスイ面がある。特に水源地域特別措置法の問題を村長はどう考えているか。

村長 水特法、環境面等も示されていない。今後協議が進む中で考えていく。

質問 議会や村民等の意見が反映される取り組みをどう考えているか。

村長 今後ダム問題が議論されると思う。議会と十分な協議を重ねていく。住民との協議は必要であるがコロナ禍の中でどのような協議の場を

開くか検討も必要である。

質問 村長は五木ダムの必要性を発言されているが、このダムは五木住民を守る重要な県営ダムである。知事に強く要望する考えは。

村長 7月豪雨で河床が上がり土砂が堆積し危険な状況にある。五木ダム建設の必要性を強く知事に求めたい。

質問 再度、今後の流水型ダムはゼロから対応する考えか。

村長 ゼロからの対応もあると考えている。



五木ダム予定地(上荒地地内)

新たなダム建設について村の対応は

木下村長

これまで歴史に翻弄され続けてきた村民の実情を考慮し着実な振興を

村長 五木村は半世紀にわたる村の存亡をかけた川辺川ダム建設と向きあってきた。今後さまざまな課題が予想される中、これまで歴史に翻弄され続けてきた村民・行政の実情を考慮いただき着実な振興がなされるよう総合的な対応をお願いしていきたい。

球磨川流域の治水対策

質問 7月豪雨で氾濫した球磨川の治水対策として支流川辺川に新たに流水型（穴あき）ダムを建設するよう国に求めた事を蒲島知事から県の考え方として村長・議会に説明があったが、村の対応、村長の考え方は。



岡本 精二 議員

質問 蒲島知事は2008年（平成20年）に川辺川ダムを白紙撤回し、ダムによらない治水を検討する場であるという施策を議論されたが結論が出なかったと聞いている。この12年間は五木村にとっては何であったのかわからない。

村長 この12年間は村にとって貴重な時間が止まったと悔しい思いがある。知事の白紙撤回によりダムによらない治水協議を重ねてきたが球磨川の安全度を高める抜本的なものがなく、今回の災害となった。平成20年に村としてはダムを前提とした村づくりを進めてきている中で、まだ道半ばであった。今回の「緑の流域治水」については具体的な話はないが、村の立場とすれば水源地域として半世紀以上ダム問題で影響を受けていることを伝えていきたい。



水没予定地

質問 水没予定地活用計画（平成25年）に基づいて平成27年度から進めているシイタケ生産団地、五木源パーク、中間土場、森と溪流五木ステイ等が水没予定地に整備

されている。また、元久領には中部エリアとしての計画もあるが、今後の利活用は。
村長 整備をした施設は必要であるので、雇用の場の確保、産業育成のため協議していく。

防災行政無線について

質問 防災行政無線のデジタル化整備工事が平成29年10月から1次工事・2次工事が始まっているが、いつ運用開始になるのか。また、屋内でも聴こえる受信機が必要と思うが計画はないのか。

総務課長 防災行政無線については令和2年7月から試験運用を行っている。工期を3月26日と契約を結んでいる。市内でも個別受信機を付ける方向で検討している。

流水型ダムを容認するのか

木下村長 1つの形とすれば容認する



質問 流水型ダムへの変更を知事の11月23日の謝罪と振興基金の10億円で認めるのか。

村長 知事の今回の判断は真摯に受け止める。

質問 白紙撤回からの12年間は、何であったのかただ時間が止まっただけとされているのか。

村長 12年間の振興等について東部、西部の大屋根広場、と宿泊施設など五木の振興を止めないという方向性でやって来た。

質問 12年間という貴重な時間は小学生が中学、高校に上がりそして、成人になるそんな時間の重要性を含めて五木

の治水を知事に進言すべきではないか。

村長 12年間ダムによらない治水の協議がされてきた経緯がある。私個人としては五木の治水としては、中止された五木ダムが必要だと考える。

質問 前回の一般質問で村長は蒲島知事の判断が終わった後で追及していくと答弁したが。

村長 知事の決断のコメントに対してどうこう申し上げる立場ではない。

質問 五木村振興に10億円基金を積みみたい。お金を積んで謝罪にいられたそれで良いのか。村民は憤慨しているのか。

はないか。

村長 知事の金額の提示には、私も驚いた、まだ何も聞いてなかった。五木村長の立場としてそれは、県の考えだと受け止めた。

質問 知事は、「民意が変わった」と言われている。村長はどの様に捉えているのか。

村長 五木全体の民意を、意見を聞く場はあると思う。「緑の流域治水」などの大枠が固まってから住民の話も聞きながら対応する。

質問 再度、流水型ダムに関して村長は容認しているのか。

村長 計画の中の流水型ダムの全体像は見えないが一つの形とすれば容認と私は、考えている。

移住・定住支援について

質問 移住・定住について約10年が経過するがその経過と結果について検証はされたのか。

か。

ふるさと振興課長 令和元年までに69人が移住をされ定住をされている方は30人いる。移住から定住へと地域全体で迎え入れるような体制づくりと民間の力も借りながら施策を講じて行きたい。

質問 民間とは地域おこし協力隊を充てるのかそれとも別に不動産業者などを考えているのか。

村長 村内に熱心で才能のある方もおられるので、その方と協議をしている。

質問 五木の特色のある教育を持って、移住に繋げるということは出来ないか。

村長 教育委員、教育委員会と話をしようという振興策が出来ればと思っている。

質問 今の英語の担当の先生が隣の村と兼務されている。村の専属として英語教育に、特色のある教育に出来ないか。

村長 議会と協議し予算を立てて取り組んでいきたい。

11月23日 蒲島知事が来村



就任されて1年、抜本的な暮らし改革と産業振興の進捗状況は

木下村長 高齢者の医療や福祉、産業振興のサポート体制を構築していきたい



中村 俊也 議員

村長所信表明の進捗について

質問 村長が就任されてから1年が経過した。所信表明に「早急に抜本的な暮らし改革と産業振興を図り、持続可能な地域づくりを村民総出で取り組む。」とあったが、この1年の進捗状況は。

村長 就任後すぐにコロナの感染拡大の対応、7月の豪雨災害の対応を行ってきた。まず、抜本的な暮らし改革については、各集落における高齢者の厳しい生活状況の改善を考えている。集落支援、集落のコミュニティづくりはもとより、ICTや光ネットワークを駆使し、高齢者の医療や福祉のサポート体制を作

ることを考えている。

質問 「本村ならではの歴史と文化に誇りを持ち、都市にはない山村の価値を高めるためにも、豊かで魅力ある地域として全国に発信する。」と述べておられるが、どのような発信をされているのか。

村長 主にインターネットを使って発信している。コロナ禍においては村民の方がネット通信を通じて日本中に物産販売をし、五木村の良さをアピールしていただいた実績がある。木材関係では、葉枯らし材を用いた製品の上棟式を熊本市内で行った。

質問 本村では、人口減少と少子高齢化に伴う自助共助の衰退が進んでいる。集落維持支援に必要な公助の重要性が増している。その対策は。

村長 集落支援として、しっかりサポートする人材を充てながら社会福祉協議会のほうでも様々なサポートは行っている。高齢者の安心感を構築するために、もう少し踏み

込んだ体制作り、それに向けた財源の確保も考えていきたい。

質問 産業振興、産業育成について、これまでかなり公助的な支援をしてきているが、その支援の在り方について検証や反省はなされているのか。

村長 行政としては、ある一定の後押し（支援）はしなければならぬが、何年か取り組んで成果が見いだせない場合は、別の道を探せるような

支援も今後考えていきたい。

また、総務省の過疎地域に対する政策や「特定地域づくり事業協同組合制度」という制度をしっかり勉強して本村に役立てられるよう探していきたい。



宮園キャンディーズ



おせっかい直送便

再燃する川辺川ダム問題「どうする」

新たな川辺川ダムの動きについて

質問 五木村は、50年の長期に渡る村の存亡とも言われて来たダム建設問題が、12年前、蒲島知事が白紙撤回を表明され、村もダムによらない村づくりを余儀なくされ、今日取り組んでいる中、令和2年7月球磨川流域の大洪水で甚大な被害が発生し、そのためか、知事は180度方向を転換し、川辺川にダムを造ると発表され、国土交通大臣に要請し、大臣も前向きに進める事になり大きな波紋を起している。

これは本村にとって、これほど悩ましい、苦難の道のではないと思う。知事が白紙撤回



西村 久徳 議員

回から一変してダム復活する穴あき（流水型）ダムを発表された事に対し、村長として正解と思うか非と思うか。

村長 7月の災害を受け、知事は2回の球磨川豪雨検証委員会を開き、県政のトップとして判断されたと思う。

質問 これは、村にとって重大な問題であり、知事のこの判断は是か非か村長としての見解は。

村長 知事が提案した緑の流域治水において流下式ダムという判断について私は容認している。

さて、どうするか の難問

質問 本村はこのダム問題で半世紀に渡り苦難の道でありであった。特に人口も半減し集落も消え、少子高齢化が急速に進み、村としての活力も低下した。まさに村の存亡と言われた危機的状況が長年続き、村民を更に苦しめる事がないよう、先日熊日新聞に出

ていたダムで翻弄され、疲弊した五木村にならないようこの重大問題が出てきた時にはいち早く村長は議会や各種団体、村民に報告し、対策会議を設置し、村民一体となって、英知を結集し村の将来に悔いのない万全な対策を講ずるべきではないか。

村長 五木村の再建と振興についてはしっかりと、取り組んでいく。

質問 穴あきダムが出来たとして、現在の九州電力逆瀬川発電所、JNCの頭地発電所、野々脇ダムで年間の固定資産税がいくら村に入ってきているか。

住民税務課長 年間5000万円程度である。

質問 これは村にとって大切な財源である。10年で5億円、20年で10億円である。また、五木を守るため五木ダムと梶原川、五木小川に防災ダムを造る必要があると思うが。

村長 要望していきたい。

質問 村長が就任され、所信表明で産業振興と暮らし改革とあるが、具体的にはどんなものか。また、一次産業である林業の衰退をどう克服するのか。

村長 村民総参加の着実な産業振興と暮らしの改革を目指し、村の基幹産業である林業が衰退しないよう努力する。

質問 歴史資料館の運営について、入場者数が計画の半分もない。村の財政負担にもなっているが。

教育課長 改善していく。



川辺川ダム建設予定地（相良村藤田地内）



こうしよくせんきよほう 公職選挙法ってなあに？①

あけまして
おめでとう！

いつきちゃん
今年もよろしくね！

今年は公職選挙法が
改正されて初めて
村議会議員選挙が
ある年だから
ワクワクするね！

公職選挙法って？

選挙が公平公正に
行われるように
作られた決まりだよ。

それがどう
変わったの？

大きく
変わったのは
この3つだよ。

① 選挙公営の拡大

選挙費用の公費負担分野拡大

② 選挙におけるビラ頒布の解禁

選挙運動用チラシの配布が可能に

③ 供託金制度の導入

立候補時に必要な金銭

①は選挙運動に必要な
車やポスター、チラシに
かかる費用の一部を
村が負担するよ。

②はこれまでできなかった
チラシの配布が
できるようになったんだ。

③は立候補の時に
供託金(15万円)が
必要になったよ。

ちなみに
「供託金制度」は
遊び半分で選挙に
出てみようなんて
人が出ないように
する制度だよ。

供託金は当選や、
落選でもある程度の
票が入っていれば
返してもらえるよ。

詳しい資料は
このQRコードから
見てね！

へー。
面白いね！

はい！

議員になりたい
わけじゃないけど
有名にはなりたい！

無料なら出るだけ
出してみよー！





やまぐち ひろき
山口 弘貴さん(梶原)

成人おめでとう
ございます。

①自己紹介

新成人の山口弘貴です。今は九州技術教育専門学校に通っています。

趣味は、^{エラワン}F1を見ること、自作PCを作ることです。好きな車はたくさんありますが、特にMcLaren 720Sが好きです。

②二十歳になってやってみたいことはありますか？

今年の4月から就職するので、目標を立てて達成できるようにしたいです。また、新しいことにも挑戦できるようにしたいです。



令和3年成人式

③将来の夢をお聞かせ下さい？

社会人として働き始めるので、社会人としての自覚を持って生活していきたいです。

④五木村への要望などありますか？

今後も笑顔がいっぱいの五木村にしたいです。

議会の動き(10月~12月)

- 10月**
- 2日 県議長会議員研修会(全議員) 広報委員会(第1回)
 - 9日 定例全員協議会(全議員)
 - 12日 広報委員会(第2回)
 - 15日 定例郡議長会議(岡本議長)
 - 20日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全議員) 広報委員会(第3回)
 - 22日 例月監査(中村監査委員)
 - 23日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全議員) 決算認定審査特別委員会(全議員)
 - 26日 広報委員会(第4回)
 - 29日 村内豪雨災害現地視察(全議員)
 - 30日 県議長会理事会(岡本議長) 人吉下球磨消防組合消防車譲渡式(岡本せ議員)
- 11月**
- 2日 定例全員協議会(全議員)
 - 6日 住民の皆様への御意見・御提案をお聴きする会(岡本議長)
 - 9日 定例郡議長会議(岡本議長)
 - 12日 県議長会広報委員研修会(各委員)
 - 13日 決算認定審査特別委員会(全議員)

- 17日 県議長会常任委員長研修会(各委員長)
 - 18日 定期監査(中村監査委員)
 - 20日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会(川辺議員)
 - 23日 県知事説明会(全議員)
 - 24日 第4回議会臨時会(全議員) 人吉下球磨消防組合議会定例会(岡本せ議員)
 - 25日 例月監査(中村監査委員) 議長全国大会(岡本議長)
 - 30日 人吉球磨広域行政組合議会第4回定例会(黒川・川辺議員)
- 12月**
- 1日 議会運営委員会(各委員)
 - 2日 定例全員協議会(全議員)
 - 9日 第4回議会定例会開会(全議員)~11日閉会
 - 19日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会(川辺議員)
 - 21日 川辺川ダム対策調査特別委員会(全議員) 県復興プラン説明(全議員)
 - 22日 定例郡議長会議(岡本議長)
 - 23日 例月監査(中村監査委員)
 - 25日 県議長会理事会(岡本議長) 人吉球磨広域行政組合議会第5回定例会(黒川・川辺議員)



笑顔あふれる五木っ子

VOL.4

五木村議会だより

やあめ

135号

2021.1.29発行

五木村が大好きです

月 日 曜日 日直

五木東小学校 6年

はやた
早田 侑里さん



私は五木村が大好きです。よそから見ればふつこの村かもしれないけど、あたたかい人々や良いところがたくさんあります。

まず、自然が美しいです。五木村に住んでいて本当にそう思います。深い緑や赤や黄色たくさんさんの自然の色に出会えます。そしてなによりも村民の人があたたかいです。五木村は少ない人口ですが、たくさんの方が地域の行事に参加したり、話をしたり、ときには野菜や豆腐、こんにゃくなどももらったりします。とてもありがたいです。

今、地球温暖化などが問題になっているけど五木村は美しいです。だからこの美しい五木村の自然をそのままのこしてほしいです。もう一回いいですが私は五木村が大好きです。

つぶやき

明けましておめでとうございませう。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大と熊本県南部豪雨災害の発生が重なり、苦難の年となりました。

しかしながら今シーズンのインフルエンザの発生状況は例年の0.2%以下と、新型コロナウイルス対策が副次的効果をもたらしているとも言えます。

また「リモートワーク」や「Web会議」等インターネットを介して仕事の効率化が図られるようになりました。道の駅でも通信販売等、販売手法の強化に取り組んでいます。

長期化する困難のもと生き方や働き方のシフトチェンジが進んでいると実感します。昨年が苦難の年とすると今年に変化の年になるかもしれません。

黒川 麻里子



次回の定例会は3月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏

発行責任者 五木村議会
編集 議長 岡本 正
議会広報委員会
〒860-0201 熊本県球磨郡五木村甲2672-17
TEL(0966)37123552